

「探究文化」ふりかえりシート

公益財団法人 日本教材文化研究財団

監修/慶応義塾大学 教職課程センター 教授 藤本和久

はじめに

探究的な学びの「芽」は日々の授業の営みの中でこそ生まれます。

そして、子どもたちが「なぜだろう?」「やってみたい!」と感じられる環境や、教師同士が学び合える風土があってこそ、探究的な学びは育まれていきます。

あなたの教室や学校はどうでしょうか?

当てはまるものに印を付けてふりかえってみましょう。

「できている・できていない」を判断するためではなく、日頃の実践をふりかえるために活用してみてください。



慶応義塾大学 教職課程センター 教授 藤本和久

使い方・ふりかえりの方法

・裏面のふりかえりシートに、日ごろの教室の様子を思い出しながら各項目に印をつける。

・特に強みだと感じた領域はどこか?確認する。

- ☐ 探究文化 (教室・子どもの姿)
- ☐ 教員文化 (教師の学び合い)
- ☐ 学校文化 (学校全体の風土)

・反対に、これから大切にしたい領域はどこか?考える。

- ☐ 探究文化 (教室・子どもの姿)
- ☐ 教員文化 (教師の学び合い)
- ☐ 学校文化 (学校全体の風土)

・明日からやってみたいことを一つ書いてみる。

・同僚と話したいことを一つ書いてみる。

・実際に同僚と語り合って、できることからやってみる。



Enjoy Inquiry-Based Learning !

「探究文化」ふりかえりシート

公益財団法人 日本教材文化研究財団
監修/慶応義塾大学 教職課程センター 教授 藤本和久

1. 探究文化（教室・子どもの姿）

- ☐ 子どもが授業中に「なぜ？」「どうして？」と疑問を口にすることがある（口にできる雰囲気がある）
- ☐ 子どもが授業中に「わかった」「だからか」と思わず感情をつぶやくことがある（つぶやける雰囲気がある）
- ☐ 子どもの予想外の発言や疑問を教科授業内で取り上げ、授業計画を変更することがある
- ☐ 子どもが失敗や間違いを恐れず発言できる雰囲気がある
- ☐ 授業プランを気にせず、子どもに考える時間を確保し、教師がすぐに正解を示さないでいる

2. 教員文化（教師の学び合い）

- ☐ 子どもの問いや学びについて、また自分の授業の失敗談を気軽に共有できる雰囲気がある
- ☐ 校内授業研究では、授業者が「やってよかった」と思えるような前向きな協議が活発に行われている
- ☐ 力量のある先生の技術が「見える化」され、学び合い、対等に議論し合える雰囲気がある
- ☐ 教師自身がワクワクしながら授業にのぞんでいる
- ☐ 教師自身が「わからないこと」「わかっていないこと」を認められる雰囲気がある

3. 学校文化（学校全体の風土）

- ☐ 管理職が「失敗しないこと」より「新しい挑戦」を応援している
- ☐ ミドルリーダーが若手教員の育成に積極的である
- ☐ 学年や教科を越えた実践に対して積極的である
- ☐ 地域や保護者との連携を大切にしている
- ☐ 「余白」時間の使い方を学校全体で話し合っている